

まちの Machi no Wadai 話題



講師の伊藤さんは石狩消防署で勤務されていたスペシャリスト!

救命講習

万が一に備えます。命を救うのはあなたかも!

一人でも多く伝授したい



気道異物の除去法の一つ「背部叩打法」の様子

手のひらの付け根で、左右の肩甲骨の間を力強く連続して叩く!

いざというときの人命救助のため、一人でも多くの方に受講してもらえると嬉しいです!

(一財)石狩市防災まちづくり協会事務局長 伊藤英一さん

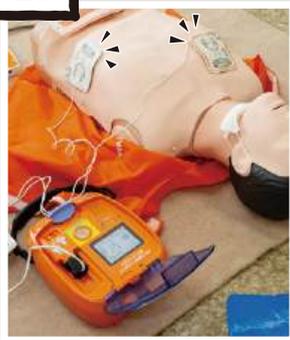


あごを上げて気道を確保!

両手を組み、腕を伸ばした状態で胸骨圧迫を開始! 30回続ける!



AED



協会オリジナルのテキストは全56ページという充実ぶり

突然の心停止の多くは、心臓が細かく震える「心室細動」によって起こります。

AEDは、電気ショックを与えてこの震えを止め、心臓が正常なリズムに戻るのを助ける機器です。

市民記者 井出美沙さん

こんにちは、市民記者の井出美沙です。今回は私の体験レポート「(財)石狩市防災まちづくり協会主催の「普通救命講習I」をご紹介します。

1時間目は気道異物の除去と止血法について学びました。喉詰まり(窒息)による死者数は令和4年度約8700人。これは交通事故死の2.5倍に相当し、うち半数以上が食べ物や飲み物の原因なのだそうです。また、9割を占める65歳以上はお餅や麺類・パンなどを、乳幼児はミニトマトやぶどう・ピーナッツなどを多く誤飲するそうです。いざというときも身近な食べ物だけでなく、いざというときの応急手当の知識はとても大事だと痛感。講習では対処法として、背部叩打法と腹部突き上げ法を教わりました。

2時間目は心肺蘇生法(人口呼吸と胸骨圧迫)、3時間目はAEDの使用法について。実際に胸骨圧迫をしたほか、人形の服を脱がせてAEDの装着と操作を体験させてもらい、より具体的に実践に近い形で学ぶことができました。

この日、参加していた柴田久美子さんに感想を伺うと、「職場でAEDを設置したので受講しました。何も知らないより、今日学ぶことができ良かったです。3年に一度は受講したい」と力強く話してくれました。日常で誰でも遭遇する可能性がある応急手当の場面。救命講習は毎月開催しています。あなたも参加してみませんか?



プロフィール ■ 小学3年生から石狩市に暮らし、現在は市内の旅行会社アミーケ・インターナショナル(株)に勤務。市内でのバスツアーや体験プログラムを行う仕事を通して出会った人々や場所の魅力を伝えたいという思いから市民記者として活動しています。

広告

広告